

マイナンバーカードの健康保険証利用が始まります!

国では、マイナンバーカードを使った取り組みとして、各種証明書を取得できるコンビニ交付サービスや、オンラインでの確定申告などを推進してきました。今回、新たな取り組みとして、マイナンバーカードの健康保険証利用を開始する予定です。

◎問い合わせ 総合政策課 ☎23-7161



カードをかざすだけ!

病院受付

利用開始時期

令和3年3月から順次開始

ポイント

利用開始時期の直前は、マイナンバーカード申請の混雑が予想されます。早めに申請ください。

対象の医療保険

国民健康保険や後期高齢者医療保険、社会保険など全ての医療保険

健康保険証利用の4つのメリット

- ①読み取り端末を医療機関などに整備。顔写真による確実な本人確認ができます
 - ②加入中の医療保険資格をリアルタイムで照会。転職や引越越しなど保険証の切り替えが必要な時でも、切れ目のない保険医療受診ができます
 - ③カードにお薬手帳の機能を持たせ、服薬履歴や特定健診のデータを確認することができるようになります
 - ④オンラインでの医療保険資格の確認により、高額療養費の限度額認定証などの書類が不要になります
- ※医療機関などの職員がマイナンバーを確認することはありません

都城歴史資料館企画展

昭和・平成タイムトラベル

キオク・ツナグ・モノ

今回の企画展では、昭和や平成の時代に使われていた道具の変遷を、

エピソードなどとともに紹介します。

「便利な道具がなかった頃は どうしていたの?」「便利な道具が使えるようになったらどうするの?」など、便利

な道具にあふれた現在の生活を見つめ直すきっかけになります。

令和から昭和・平成へ、道具の変遷を通してタイムトラベルしてみませんか。

◎問い合わせ

文化財課 ☎23-9547

企画展の概要

●会期 3月1日(日)まで

※月曜日は休館(月曜日が祝日の場合は、その翌日)

●場所 都城歴史資料館

●入館料

大人220円(160円)

高校生160円(110円)

小・中学生110円(50円)

※()は20人以上の団体料金

展示テーマと展示資料

●昭和時代初期「知恵と工夫がいっぱい」
飯びつ・飯ぶく、洗濯板など。

●昭和時代中期「道具で時間がうまく」
一槽式電気洗濯機、電気炊飯釜、ダイヤル式黒電話機など。

●昭和時代後期「あふれる家電」
カラーテレビ、ラジオカセットレコーダー、二槽式電気洗濯機など。

●平成時代「電気なしでは生きられない」
携帯電話機、ポケットベルなど。

【展示資料の一例】

「デルビル磁石式壁掛電話機」

明治中期から昭和中期ごろまで使用された電話機。電話局の交換手を呼び出し、交換手が相手につなぐことで通話ができました。



(都城歴史資料館所蔵)